

とっとり プラットフォーム 5+ α

第1期

平成30(2018)年度
〜
令和4(2022)年度

活動報告書



ご挨拶



会長
松本 典子
(鳥取短期大学 学長)

「とっとりプラットフォーム5+α」が発足して5年、一区切りの時期を迎えました。2017年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）に採択されて以来、県内高等教育機関の教育の充実と地域の活性化を目指し、県内5つの高等教育機関と自治体、経済・医療福祉団体等が連携協力して12課題（当初11課題）に取り組んできました。本冊子は、本事業1期目の活動記録です。

折しもコロナ禍と重なり、共同研究や学生による地域貢献活動などにおいて調査や活動そのものが予定通りにできない状況に見舞われましたが、関係者のご努力と創意工夫により多くの成果を生み出すことができました。なお本事業は、日本私立学校振興・共済事業団の「2019年度大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」および文部科学省の「大学による地方創生の取組事例集（2021）」に取り上げられるなど、全国的にも注目されてきました。次期には、教育と地域の新たな課題を見出し、さらなる事業の推進に努めてまいります。

CONTENTS

I	文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の採択	01
II	構成団体の拡充	03
III	構成団体の全面的な支援協力	03
IV	課題と取組み項目、主な活動	04
V	活動の成果	05
VI	運営協議会の歩みと連携体制・協議体制	08
VII	第2期中期計画（令和5年度～令和9年度）に向けて	09

I 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の採択

若者の県内定着や社会人の学ぶ機会の拡充などの地域課題に対応するため、鳥取短期大学がとりまとめ校となり、県内5つの高等教育機関（※）と自治体、経済・医療福祉団体等で構成する「とっとりプラットフォーム5+α」を立ち上げ、文部科学省の「私立大学等改革総合支援事業」に採択された。唯一、私立の短期大学がとりまとめ校となっていることもあり、全国的にも注目されている。

（※）鳥取大学（国立）、公立鳥取環境大学（公立）、米子工業高等専門学校（国立）、鳥取看護大学（私立）、鳥取短期大学（私立）

平成29(2017)年10月25日

「とっとりプラットフォーム5+α」に関する包括連携協定の締結

私立大学等改革総合支援事業タイプ5「プラットフォーム形成」の申請に先立ち、平成29(2017)年10月25日に「とっとりプラットフォーム5+α」に関する包括連携協定を12団体（※）で締結した。

（※）鳥取大学、公立鳥取環境大学、米子工業高等専門学校、鳥取看護大学、鳥取短期大学、鳥取県、鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会



鳥取県平井知事と学校法人藤田学院山田理事長

平成30(2018)年2月5日

私立大学等改革総合支援事業タイプ5「プラットフォーム形成」に選定

平成30(2018)年2月5日、私立大学等改革総合支援事業タイプ5「プラットフォーム形成」に選定された。全国から申請のあったプラットフォーム数は21(119校)で、地方型は13(58校)、都市型は8(61校)であり、選定されたプラットフォーム数は9(内訳：地方型6、都市型3)であった。中国・四国地方の大学・短期大学では、「とっとりプラットフォーム5+α」が唯一選定された。

選定された全国のプラットフォーム

名称	区分	特定の地域
キャンパス・コンソーシアム函館	地方型	函館市（北海道）
青森市産官学連携プラットフォーム	地方型	青森市（青森県）
宇都宮市創造都市研究センター	地方型	宇都宮市（栃木県）
静岡市文教エリア等の発展に向けた相互連携協議会	地方型	静岡市（静岡県）
豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム	都市型	豊田市（愛知県）
大学コンソーシアム京都	都市型	京都府
ひょうご産官学連携協議会	都市型	兵庫県
とっとりプラットフォーム5+α	地方型	鳥取県
九州西部地域大学・短期大学連合産官学連携プラットフォーム	地方型	長崎県・佐賀県

「とっとりプラットフォーム5+α」選定の報道発表

平成30(2018)年3月9日、鳥取看護大学を会場に鳥取県平井知事をはじめとした構成団体の代表者を招いて、「とっとりプラットフォーム5+α」選定の報道発表と設立記念レセプションを開催した。設立の趣旨や経緯、今後の取組方針等について説明を行った。



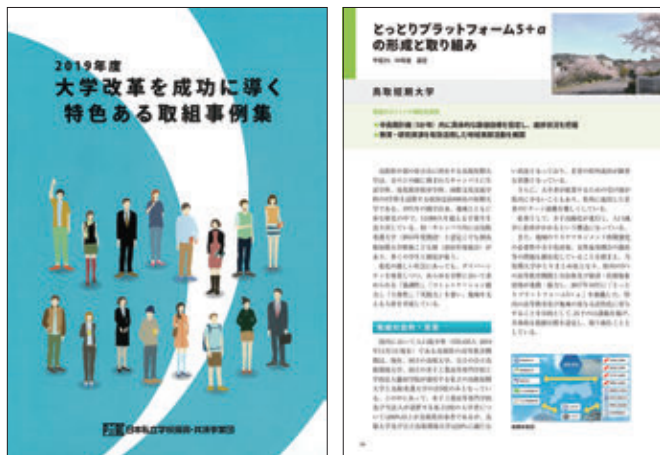
令和元(2019)年度からのタイプ区分変更

私立大学等経常費補助金(特別補助)の区分変更に伴い、令和元(2019)年度から私立大学等改革総合支援事業タイプ5「プラットフォーム形成」が私立大学等改革総合支援事業タイプ3「地域社会の発展への貢献(プラットフォーム型)」に変更となった。

■ 刊行物等への掲載

「とっとりプラットフォーム5+α」の取組みは、地方の大学等が大学改革や地方創生に力を入れている事例として、文部科学省および日本私立学校振興・共済事業団の刊行物等に掲載された。

日本私立学校振興・共済事業団
「2019年度大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」
令和2(2020)年3月発行



https://www.shigaku.go.jp/files/s_1tokusyokujirei_054.pdf

文部科学省
「地域で学び、地域を支える。大学による地方創生の取組事例集」
令和3(2021)年3月発行



https://www.mext.go.jp/content/20210511-mxt_koutou01-000014454_1.pdf

Ⅱ 構成団体の拡充

「とっとりプラットフォーム5+α」は前述のとおり包括連携協定を結んだ12団体で平成29（2017）年10月にスタートした。鳥取看護大学が完成年度を迎えた令和元（2019）年度からは医療福祉分野への対応等の観点から地元自治体の倉吉市と鳥取県社会福祉協議会、鳥取県看護協会を加えた15団体となり、その後、令和2（2020）年度には高大連携および「鳥取県立美術館」の活用や支援に取り組んでいくため鳥取県教育委員会を加えた16団体に、さらに令和3（2021）年度には鳥取県文化振興財団を加えた17団体へと徐々に構成団体の拡充を図った。

■ スタート時の構成団体 12団体

鳥取大学、公立鳥取環境大学、米子工業高等専門学校、鳥取看護大学、鳥取短期大学、鳥取県、鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会

■ 令和元（2019）年度～ 15団体

倉吉市、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県看護協会

〈理由〉 鳥取看護大学が完成年度を迎えたことにより、医療福祉分野の課題への対応と活動を強化するため

■ 令和2（2020）年度～ 16団体

鳥取県教育委員会

〈理由〉 教育分野における高大連携、「鳥取県立美術館」の活用および支援に取り組むため

■ 令和3（2021）年度～ 17団体

鳥取県文化振興財団

〈理由〉 「鳥取県立美術館」との連携および学生の文化芸術活動への関わりを強化するため

Ⅲ 構成団体の全面的な支援協力

鳥取県内の高等教育機関は、文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」（平成27年度～令和元年度）や地元CATVと提携した社会人向けの教育情報コンテンツの提供などを通じて以前から交流があった。また、鳥取県とも連携協定を結び若者の県内定着に向けた人材養成等に取り組んできた。さらに、個別に経済団体等とのつながりもあった。

「とっとりプラットフォーム5+α」はこれらを束ねたものであり、地域課題の解決に向けた構成団体の共通理解と全面的な支援に後押しされ、活動の幅を広げてきた。資金面においても支援いただいております。構成団体である鳥取県、倉吉市などからの運営協力金も活用しながら、各種講座や研修会などを開催している。



運営協議会（コロナ禍前）の様子



運営協議会（コロナ禍中）の様子

IV 課題と取組み項目、主な活動

■ スタート時 11の課題と32の取組み項目

課題	取組み項目	主な活動
1. 県内高校生の卒業後 県外転出率の減少	(1) 正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議への参加	・研究パネル展の実施（県内高校巡回）
	(2) 県内企業の共同就職フェアの推進	
	(3) 県内高等教育機関のパネルを高校内へ展示推進	
2. 県内高等教育機関の 教育内容の充実と学習 機会の拡大	(4) 単位互換科目の検討協議	・単位互換履修科目の設定 ・遠隔授業の補完としてe-ラーニング活用
	(5) e-ラーニング授業実施のための機材活用	
	(6) e-ラーニング授業の検討と実施	
	(7) e-ラーニング授業の広報（対象者：学生・教員）	
3. 県内高等教育機関の キャリア教育の充実	(8) e-ラーニング授業に関する調査	・とっとりインターンシップフェスティバルへの参加
	(9) インターンシップ受け入れ企業の増加	
	(10) とっとりインターンシップフェスティバル開催	
4. 県内高等教育機関卒業 者の県内就職の促進	(11) インターンシップ合同企業説明会開催	・地域学科目のDVD収録 ・県内企業の共同就職フェアの開催
	(12) 地域学科目（鳥取学等）e-ラーニングの導入	
	(13) 正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議への参加	
5. 県民の生涯学習内容の 充実と機会の増加	(14) 県内企業の共同就職フェアの推進	・県内高等教育機関連携講座（とっとり県民カレッジ）の開催
	(15) 講座内容、講師、会場の協議検討会議	
	(16) 広報活動の充実	
6. 人手不足社会における 人手確保による産業界 の活性化	(17) 受講生に対するアンケート調査	・看護職向け履修証明プログラム開設 ・共同研究
	(18) 技能向上の支援のための履修プログラム検討	
7. 地域リスクマネジメント 体制の強化	(19) 女性雇用に関する共同研究の支援	・防災士の養成 ・共同研究
	(20) 中部地震復興会議への参画	
8. 人口減少社会への対応	(21) リスクマネジメント体制に関する共同研究支援	・育児休業取得に関する調査の実施と改善要望 ・共同研究
	(22) 子育て支援に関する講座への講師派遣	
	(23) プラットフォーム形成機関の育児休業取得率の向上	
9. 社会人学生の確保	(24) 少子化対策の共同研究の支援	・産業人材育成センターからの職業訓練生の受入（栄養士・保育士） ・公開授業ハンドブックの作成と履修証明プログラムの導入（看護大・短大）
	(25) 産業人材育成センター委託事業の推進	
	(26) 履修証明プログラムの導入検討	
	(27) 社会人の学びやすい仕組みの導入と推進（共同研究支援）	
10. 県内高等教育機関の教育 研究活動等に関する 適切かつ効果的な運営	(28) 社会人への広報活動の充実	・共同FD・SD研修会の実施
	(29) 共同のFD研修会の実施	
11. 学生による地域貢献活 動の展開	(30) 共同のSD研修会の実施	・QRコードを活用したこども食堂参加者募集チラシの作成 ・フードドライブ事業への参画
	(31) こども食堂・学習支援に関する合同説明会の開催	
	(32) こども食堂・学習支援の参画募集チラシの作成	

■ 令和3（2021）年度～ 12の課題と35の取組み項目

（追加理由） 令和7（2025）年春に開館予定の鳥取県立美術館のサポート・活用に力を入れるため

課題	取組み項目	主な活動
12. 県立美術館のサポート・ 活用	(33) 美術ファシリテーターの養成	・対話型鑑賞プログラムの授業への導入 ・建設現場・関連施設見学の共同実施 ・デザインコンペの開催参加
	(34) 美術館フィールドの活用支援	
	(35) 美術館のサポート	

V 活動の成果

■ 県内高等教育機関卒業生の県内就職の推進

自治体、企業等と連携し、地域志向科目（「現代鳥取学」等）を開講したほか、県内企業等の合同説明会（共同就職フェア等）を毎年、米子・倉吉・鳥取の3会場およびオンラインでも開催し、学生たちの県内就職率のアップに取り組んだ。



合同説明会の様子

■ 防災士の養成と異分野連携防災研修会の実施

各高等教育機関の学生10名、計50名分の防災士養成研修費助成枠を設け、毎年30名前後の防災士を養成している。令和3（2021）年度には、鳥取県社会福祉協議会の災害福祉支援センターから講師を招き、「防災士としてできる地域の活動」と題した講演会をオンラインで開催した。また、令和4（2022）年度には、一般社団法人鳥取県建築士会から講師を招き、HUG（避難所運営ゲーム）を用いながら異分野の専門家（鳥取県立厚生病院、鳥取県中部総合事務所倉吉保健所、湯梨浜町消防団〈羽合〉）と学生の合同による実践的な防災研修会を実施した。



異分野連携防災研修会の様子

■ 育児休業の取得に関する調査の実施と改善要望

令和2（2020）年1月から2月にかけて、「とっとりプラットフォーム5+α」を構成する自治体を除いた13団体を対象に、法人向けと個人向けの2つの「育児休業の取得に関する調査」を実施した。その調査結果を踏まえ、鳥取県内における育児休業の取得に関する課題を整理し、令和3（2021）年5月に「保育園の年度中途入園枠の確保」など4項目について鳥取県に要望書を提出した。

■ 学術分野・社会人学生受入マップの作成

鳥取県内の高等教育機関で学びたい社会人が、授業科目等を一覧ですぐ探すことができるよう、「鳥取県内5高等教育機関（鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校）学術分野・社会人学生受入マップ」を作成した。

■ 公開授業ハンドブックの作成

社会人への学びの広報活動の一環として、また、社会人の「学ぶ」ニーズに応えることができるプログラムを用意することを目的として、令和2（2020）年11月から令和3（2021）年1月にかけて社会人の学びのニーズ調査を実施した。調査の結果を受け、鳥取看護大学および鳥取短期大学ではそれらのニーズに応えるため、令和3（2021）年度から「公開授業ハンドブック」を企画・作成し、鳥取県内各所へ毎年配布している。



公開授業ハンドブックの表紙

■ 共同FD・SD研修会の実施

「とっとりプラットフォーム5+α」構成団体の教職員をはじめ一般の方も対象に、以下の研修会を実施した。コロナ禍においては、オンライン及びオンデマンドも併用した。

【平成30（2018）年度】開催日：9月14日

テーマ：セクハラ・パワハラ・アカハラ事案にどう取り組むか
講師：横山 美栄子氏（広島大学教授 ハラスメント相談室）

【令和元（2019）年度】開催日：9月17日

テーマ：業務をめぐる多様なリスクと危機管理について
講師：曾我 紀厚氏（弁護士）

【令和2（2020）年度】開催日：9月24日

テーマ：業務をめぐる多様なリスクと危機管理について（第2弾）
講師：曾我 紀厚氏（弁護士）

【令和3（2021）年度】開催日：9月16日

テーマ：COVID-19パンデミックの行く末を考える
講師：荒川 満枝氏（鳥取看護大学教授、専門分野：感染看護学、免疫学、国際看護学）

【令和4（2022）年度】開催日：9月1日

テーマ：鳥取県におけるDXの取組 ～県庁DXチャレンジ～
講師：下田 耕作氏（鳥取県総務部デジタル・行財政改革局 デジタル改革推進課 課長）



共同FD・SD研修会の様子

■ こども食堂への学生ボランティア参加支援とフードドライブ事業への参画

学生のこども食堂へのボランティア参加を促すため、令和元（2019）年度にQRコードから申し込みができる子ども食堂参加者募集チラシを作成した。県内の高等教育機関で掲示し、取組みを本格化させる予定にしていたが、令和2（2020）年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大で取組みが中断した。そのため、フードロスの削減と必要な人への食材提供という観点から鳥取県と鳥取県生活協同組合が連携して実施するフードドライブ事業に「とっとりプラットフォーム5+α」として全面的に参画し、各構成団体がPRや収集活動に取り組んだ。



フードドライブ事業に寄せられた食材の一部

■ 美術ファシリテーターの養成

鳥取県立博物館と連携し、コレクション宅配便などを通じて「対話型鑑賞」を学んでいる。「対話型鑑賞」は、参加者が作品を見て気づいたことや感じたことを話し合い、対話を通じて作品を鑑賞する方法で、聞く力や他者の視点を尊重する姿勢を養うなどのコミュニケーション能力を高めると言われている。鳥取県立美術館開館（令和7（2025）年春）後の美術作品鑑賞のファシリテーター（進行役）を担うことが期待されている。



対話型鑑賞に参加している学生の様子

■ 鳥取県立美術館の建設現場見学と 関連施設見学

令和7（2025）年春に開館予定の鳥取県立美術館の建設現場を、鳥取大学と鳥取短期大学の学生が見学し、設計ならびに工事概要の説明を受けた後、杭工事など工程に沿った建築技術を体感した。また、事業者の関連施設である竹中大工道具館を鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学の学生が、さらに、古代出雲歴史博物館を米子工業高等専門学校、鳥取短期大学の学生が、それぞれ合同で見学した。建築道具の歴史や美術館のバックヤードなどに触れることができ、建築を学ぶ学生にとって貴重な体験となった。



竹中大工道具館見学の様子

■ 共同研究

年度	研究テーマ	研究高等教育機関 (○は代表者所属機関)	研究代表者
2019	女性図書館員のライフコースとキャリア形成過程：鳥取県を事例として	○鳥取短期大学 鳥取大学	長岡絵里佳
2019～2021	津波災害が予想される地域での住民主体による「事前復興まちづくり計画」立案のプロセスに関する研究	○鳥取大学 米子工業高等専門学校	浅井 秀子
2019～2021	自主防災組織困難者のためのSNSを活用した災害情報ネットワークの構築	○鳥取短期大学 鳥取大学	清水 文人
2019～2021	鳥取県における気象災害の動向とリスクマネジメントの検証 —気象情報のWeb公開と防災アラート速報の配信—	○公立鳥取環境大学 鳥取大学	重田 祥範
2019～2021	地元企業とつくるMOT人材育成のための教育プログラム	○米子工業高等専門学校 鳥取短期大学	河野 清尊
2019～2022	拳児希望女性へ向けたからだと心を整えるシェルハブメソッドの効果	○鳥取看護大学 米子工業高等専門学校	鈴立 恭子
2019～2022	自然を活かした保育による幼児の身体的発達に関する調査研究	○鳥取短期大学 鳥取大学	近藤 剛
2020～2022	乳児期親子の関係性構築に関する育児支援体制強化の検討 ～看護職と保育士の乳幼児精神保健の認識比較から～	○鳥取短期大学 鳥取県看護協会	山村 裕子
2021	保育者の定着に関するキャリアラダーの有意性	○鳥取県社会福祉協議会 鳥取大学	藤井 喜臣
2021～2022	鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築	○鳥取大学 米子工業高等専門学校	浅井 秀子

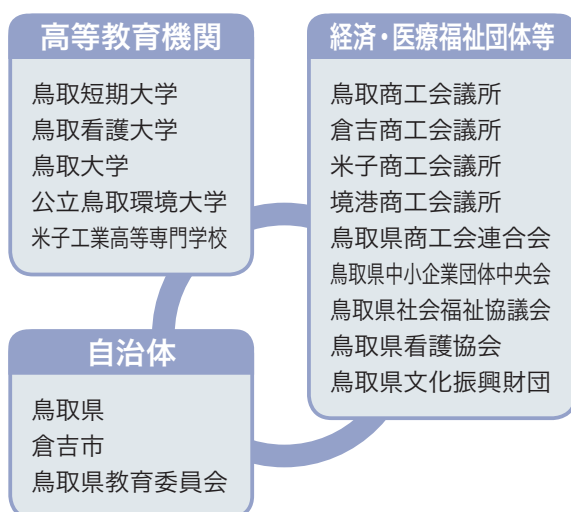
VI 運営協議会の歩みと連携体制・協議体制

「とっとりプラットフォーム5+α」の運営協議会は、高等教育機関、自治体、経済・医療福祉団体から選出された委員で構成され、計画の進捗状況の確認と検討および評価を行ってきた。また、運営協議会の下部組織として3つのワーキンググループを設置し、課題解決に向けて取り組んできた。

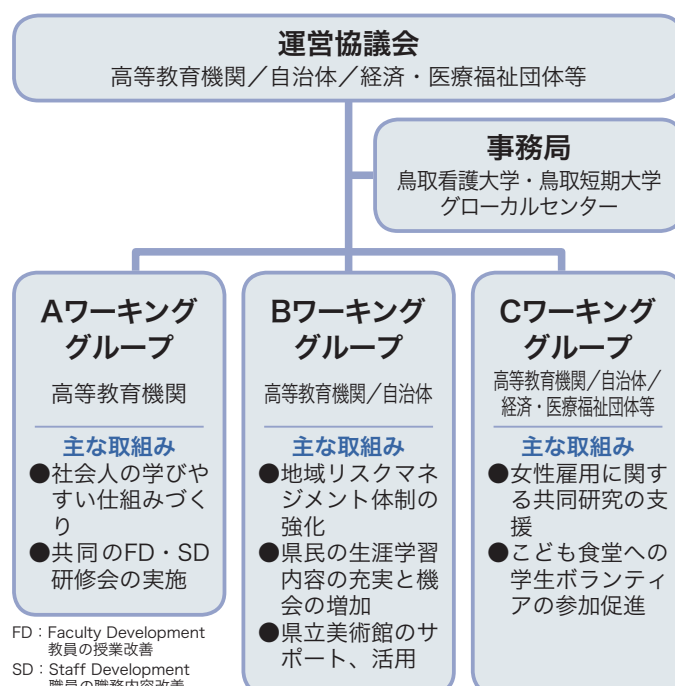
運営協議会の歩み

回	開催日	主な議題
第1回	H29.10.13	名称、包括連携協定書、方針、目標数値、計画策定スケジュール
第2回	H30. 2.20	運営協議会設置要綱、数値目標の追加、取り組み項目
第3回	H30. 5. 9	予算配分、各ワーキング部会の活動方針、ロードマップ作成
第4回	H30. 8.23	中長期計画ロードマップ案、共同FD・SD研修、共同研究募集
第5回	H30.11.26	タイプ5申請報告、各ワーキング進捗報告、公開講座、人事交流
第6回	H31. 2.14	共同研究の審査、3団体（倉吉市、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県看護協会）の加入
第7回	R元. 5.21	共同研究の採択、決算・予算、H30年度の総括と今後の取組
第8回	R元.10. 8	タイプ3申請報告、各ワーキング進捗報告、共同研究募集
第9回	R元.12.17	私学事業団の取材報告、育児休業の取得に関する調査
第10回	R 2. 2.21	鳥取県教育委員会の加入、社会人の学びに関するニーズ調査、防災士養成、こども食堂
第11回	R 2. 7.21	決算・予算、各ワーキング進捗報告、共同研究事業報告
第12回	R 2.10.29	タイプ3申請報告、各ワーキング進捗報告、県立美術館関連の取組
第13回	R 3. 6. 4	鳥取県文化振興財団の加入、決算・予算、各ワーキング進捗報告
第14回	R 3.10. 1	中期計画の進捗評価、各ワーキング進捗報告、コロナ禍での活動
第15回	R 4. 2.25	タイプ3選定結果、社会人受入マップ、美術ファシリテーター養成
第16回	R 4. 7. 8	決算・予算、美術館建設現場見学、フードライブ事業
第17回	R 4.11.25	タイプ3申請報告、各ワーキング進捗報告、第2期中期計画骨子案
第18回	R 5. 3.10	第2期中期計画の達成目標・活動指標、グループ編成

連携体制



協議体制



Ⅶ 第2期中期計画（令和5年度～令和9年度）に向けて



学校法人藤田学院
理事長

山田 修平

次なるステップに

鳥取短期大学、その基盤の上に開設した鳥取看護大学は、私立だが、設立の経緯、理念、実態からも地域立です。地元の要請と物心両面の支援、地域に貢献する人材の育成、学生の出身地域、就職先、まさに地域を離れて存在しません。とはいえ、様々な地域課題に両大学のみで取り組むには、当然限界があります。そんな折、私立大学等改革総合支援事業タイプ3（当初タイプ5）の新設、即応募しました。県内すべての高等教育機関、鳥取県、倉吉市、経済・医療福祉団体等の賛同を得て、盛り沢山の内容を盛り込んだ中期計画を5年間実施、それなりの成果を得たと自負しています。今、次なるステップを踏み出します。防災士の養成、県立美術館サポート・活用事業等、効果的で本プラットフォームに最も相応しい従来の取り組みに加えて、深刻化する若者の県内定着、地域公共交通の弱体化、若者の地域活動推進等の課題を盛り込んだ、新中期計画です。地域と大学の活性化はイコールです。

6つの課題と17の取組み項目

課 題	取組み項目
1. プラットフォーム構成団体の連携強化による研究教育力の向上	(1) 高等教育機関の連携による学びの提供
	(2) 社会人の学びやすい仕組みの導入と推進
	(3) 共同FD・SD研修会の実施
2. 県立美術館のサポート・活用	(4) 美術ファシリテーターの養成
	(5) 美術館フィールドの活用支援
	(6) 美術館のサポート（開館後も見据えた）
3. 若者定着による人手不足の解消	(7) 産業界との連携による産業人材の育成
	(8) 学びと関連した移住・定住の促進
	(9) ラーニングワーケーション環境の整備
	(10) 若者の県内定着の推進
4. 地域交通の維持・利用促進	(11) JRの利用促進と駅（周辺）の魅力づくりへの参画
	(12) 交通弱者に対応した新たな地域交通インフラの検討
5. 地域リスクマネジメント体制の強化	(13) 防災士養成の促進
	(14) 若者による地域防災活動の推進
6. 地域福祉活動への学生の参加促進	(15) こども食堂等の情報発信と学習支援
	(16) アドボキット・こどもサポーターの養成
	(17) 地域福祉理解と活動の推進

発行 **とっとりプラットフォーム5+α事務局**
(鳥取看護大学・鳥取短期大学 グローカルセンター)

〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854

TEL : 0858-27-0107

FAX : 0858-26-9138

https://www.cygnus.ac.jp/t_platform/

E-mail : glocal@cygnus.ac.jp

2023年7月発行